



広報 **おいしだ** 2017/3 No.729

◇編集・発行 大石田町総務課 山形県北村山郡大石田町緑町1番地 電話 0237-35-2111 FAX 0237-35-2118 ◇印刷 (有)印刷 文化堂

平成29年度
施政要旨と予算
P2~7

まちとしょ座談会
わたしと図書室
P8~11

ニュース玉手箱
P16~17

■表紙写真
水明苑で行われた大石田そば街道振興会のそば振る舞い。利用者が会員の手ほどきを受けながら、そば打ちを楽しみました。

「食事・運動心がけ みんなで健康おいしだ」
大石田町健康増進計画 **健康おいしだ21**

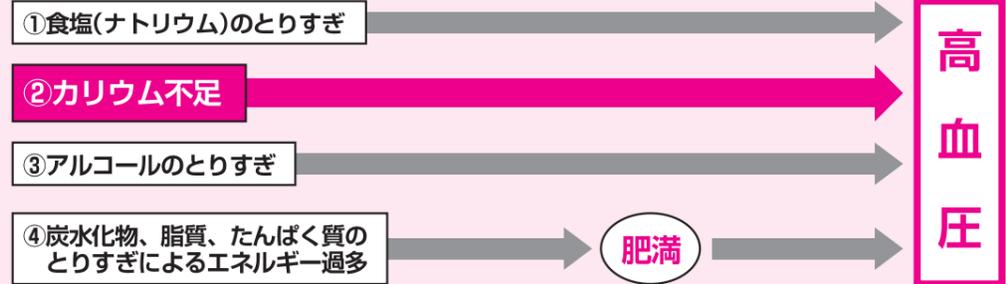


ちょっとためになる **高血圧の話 ④**

生活習慣病における疾病のうち、大石田町では、高血圧性疾患に関わる医療費が最も多くなっています。健やかで心豊かに暮らせる町づくりを目指して、みなさん一人ひとりが高血圧予防に取り組むことができるよう、高血圧に関するお話をシリーズでお知らせします。

意外と知らない！ 高血圧と栄養素の関係

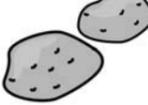
高血圧予防で最も重要なのは減塩を心掛けることですが、血圧を上げる要因は食塩（ナトリウム）のほかにもあることを知っていますか。今回は「カリウム不足」についてお知らせします。



カリウムをしっかりとりましょう！

カリウムにはナトリウムの排泄を促し、血圧を下げる働きがあります。ナトリウムと逆の働きをするため、減塩とあわせてしっかり摂りたい栄養素です。カリウムは野菜や果物、特にいも類に比較的多く含み、なおかつカロリーが低いので多く食べることができます。カリウムは水に溶けやすく茹でると失われやすいので、生で食べる野菜や果物は特におすすめです。1日2,000mg~4,000mgを目安に摂取するとよいでしょう。ただし、腎臓病や糖尿病の方は主治医の指示に従ってください。

カリウムを野菜・果物から1日プラス1000mgとるには・・・

				
キャベツ中葉 2枚 200mg	トマト 1/2個 170mg	じゃがいも 1個 400mg	みかん 1個 130mg	りんご 1/2個 160mg

広報担当となって、丸2年となりました。ちょっとハードディスクの残容量が気になってきたので、今年度撮影した皆さんの写真を整理してみました。写真を眺めながら、改めて今年もいるところ、取材に行つて、笑顔や真剣な表情、さまざまな場面に出会ったことを思い出していたのですが、一方で、とてもいい場面なのにうまく撮れてないという写真もたくさんあって、技術が足りていないこと、センスもないことを痛感しています。

来年度は（異動がなければですが）、少しでもそんないい場面を皆さんにお伝えすることができるよう努力しますので、広報おいしだを引き続きよろしくお願ひします。（あ）

楽がき帳

町の人口 平成29年3月1日現在

世帯数	2,340戸 (+2)		
総人口	7,390人 (-12)		
男	3,622人 (-8)		
女	3,768人 (-4)		
(2月中の異動)			
出生	1人	転入	9人
死亡	8人	転出	14人

こころ通うあたたかい町政

平成29年度

施政要旨

平成29年第1回大石田町議会定例会が3月3日から14日まで開かれ、庄司町長が町政運営に対する基本的な考えと施策の概要について述べました。

平成29年度の施策のあらましと当初予算についてお伝えします。



最重点施策

- ◎ 「町民交流センター」の完成と、機能を十分に活かせる運営体制を構築
- ◎ 「ふるさと納税」返礼品の充実を図り、全国に大石田町をPR
- ◎ 定住・転入促進のため新築住宅補助制度を施行
- ◎ 「地域おこし協力隊」を受け入れ、移住促進支援や観光・物産情報を発信
- ◎ 国道347号沿線自治体等と連携し広域観光を促進
- ◎ 空き家の有効活用と適正管理のため「空き家バンク」制度を推進
- ◎ 「町民交流センター」を拠点に生涯学習を推進

私は現在、二期目の町政運営をさせていただいておりますが、この5年間一貫して、町民の代表としての立場を忘れることなく、「こころ通う あたたかい町政」を信条としてまいりました。

この間、町民各層からご意見をいただきながら、人口減少に伴う厳しい財政事情の中、少子化対策や高齢者・弱者対策、目まぐるしく変化する農業行政への対応、そして雪対策に取り組んでまいりました。

特に、長年の課題でありました福祉会館の代替施設となる「町民交流センター虹のプラザ」の整備については、本年9月1日のグラウンドオープンに向けて、引き続き全力を傾注してまいります。また、主要地方道大石田畑線「亀井田橋」の架け替えと東北中央自動車道「大石田村山インターチェンジ」の完成も予定されており、平成29年度は町にとって大きな節目の年となります。

平成27年度の国勢調査によると町の総人口は7,357名と、昭和30年の合併から62年を経過した現在、半減するに至っております。今後の町の存続を確かなものとするため、一昨年「大石田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、町の活性化事業、定住対策事業の具現化に取り組んでまいりました。人口対策に特効薬はないと言われ、一朝一夕にはその効果は計り知れませんが、一歩一歩前進していきたいと考えております。

今後とも町民の皆さまの声を聴くことに努め、町民が求めることを把握しながら、町民目線での町政を進めてまいりますので、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

納税対策について

- 差押物件のインターネット公売等の未納対策、納税相談員の配置や徴収アドバイザー制度、口座振替キャンペーンを一層推進します。
- 口座振替やコンビニ収納等を推進し、納税環境を整備して収納率の更なる向上を図ります。

定住対策とまちづくり事業について

- 新しい複合施設「町民交流センター」が各機能を十分に発揮できるよう運営体制を構築します。
- 「ふるさと納税」を町の情報を発信する好機と捉え、魅力ある返礼品の充実を図り、更なる増額を目指します。また、ふるさと納税を財源とした新築住宅補助制度を施行します。
- 資格取得支援事業や6次産業化支援事業、やる気活動サポート事業を継続し、商工業の活性化と町内団体の活動促進に努めます。
- 歳を活用した駅前賑わい拠点の整備を進め、地域おこし協力隊による移住促進支援や観光・物産情報発信を進めます。

保健・福祉関係事業について

- 「大石田町健康増進計画 健康おおいしだ21」に基づいて、健康寿命を延ばすための積極的な健康づくりを支援します。
- 町独自施策の「福祉バス」や「高齢者タクシー」などの取組みを継続します。
- 除雪費用・灯油購入への助成制度や「緊急通報システム事業」などを継続し、高齢者が安心して生活できる環境整備を図ります。
- 出産祝金や中学3年生までの医療費を無料とする子育て医療を継続します。「大石田町子ども子育て支援事業計画」に基づく施策に取り組み、誰もが安心して産み育てられる環境づくりに努めます。
- 国民健康保険・後期高齢者医療の運営にあたって

は、疾病予防はもとよりジェネリック医薬品や在宅診療の啓発などで医療費抑制を図り、健全運営に努めます。

- 平成30年度に行われる国民健康保険制度の県単位化を見据え、安心感の持てる保険制度の構築に努めます。
- 「第7期介護保険事業計画」を策定し、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を図ります。

農業振興事業について

- 認定農業者制度の活用や農地の集積による規模の拡大、集落営農の農業経営の法人化促進に努めるとともに、後継者や新規就農者の確保育成に努めます。
- 新たな制度のもと、農業委員会が農地行政における役割を的確に果たせるよう努めます。

商工業振興事業について

- 商店経営の近代化、サービス向上などを促進し、地域商業の活性化に努めます。
- プレミアム商品券発行事業を支援します。

観光物産振興事業について

- 国道347号関係自治体との連携を図り、広域観光ルートをづくりや広域的PR活動など、広域観光の促進に努めます。
- 友好交流協定を結ぶ涌谷町や国道347号「絆」促進協議会の構成市町、隣接する石巻市などと連携し、交流人口の拡大に努めます。
- 新そばまつりなどの開催を支援し、「大石田そば街道」の賑わいを図り観光客の増大に努めるなど、生産から加工・販売までを一体的に行う6次産業である「そば」のPRに努めます。

道路交通網整備など建設関係事業について

- 「点検・診断・修繕・計画」のメンテナンスサイクルを構築し、道路施設の長寿命化と長期的な維持管理コストの縮減を図りながら、安全で円滑な交通の確保に努めてまいります。
- 流雪溝未整備地区について、安定した水源および流末の確保を含め、国・県および関係機関と調整を図り、計画的に整備を図ります。
- 町営住宅については「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な修繕により長寿命化を図り、良好な居住環境の形成に努めます。
- 「住宅リフォーム支援事業」を継続し、住宅のリフォーム工事や耐震改修工事等を支援します。

安心安全のまちづくり事業について

- 高齢ドライバーの免許自主返納に対する支援を本年より実施します。
- 防犯灯LED化推進事業を継続して実施します。
- 危険な空き家について条例に基づき適正な管理を指導するとともに、「空き家バンク制度」により空き家の有効活用を推進します。
- 平成30年度に大石田町を会場に開催される「東北水防技術競技大会」に出場する町消防団を支援し、水防技術の向上を図り方が一の水害に備えます。

教育文化の振興事業について

- コミュニティ・スクールを一元化した「大石田学園運営委員会」を核に、小中一貫の系統性・連続性のある質の高い学校教育と学校づくりに努めます。
- 「町民交流センター」を生涯学習推進の拠点とし、多くの町民が学ばせしめと活動する喜びを共有できる学習機会や情報提供とともに、魅力的な自主企画事業を展開します。
- 本年、大石田町において開催される「県民芸術祭開幕記念式典および開幕記念公演」の成功に向け、関係機関・団体と連携を図り、準備を進めます。

各分野の主な施策

平成29年度 町の 予算 49 億円

一般会計

予算内訳

一般会計予算 **49億円** (前年比△3,300万円)
 特別会計予算 **22億5,601万円** (前年比 +2,511万円)

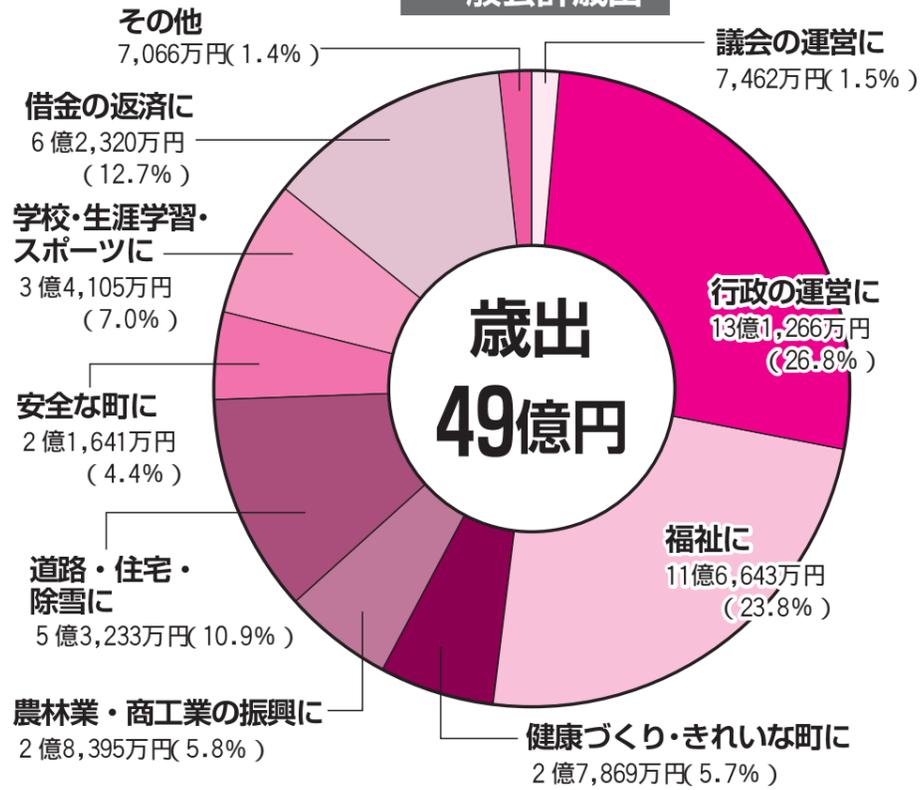
《性質別にみる一般会計の歳出》

人件費...職員の給与など 8億4,332万円(前年比△0.6%)	↓
扶助費...障がい者支援や医療費助成など 5億7,478万円(前年比+7.2%)	↑
公債費...過去の借入金の返済にかかる費用 ※6 6億2,320万円(前年比△0.1%)	↓
行政運営費...事業実施の事務経費や施設管理費用など 15億9,551万円(前年比+13.9%)	↑
施設等整備費...施設や道路などの整備にかかる費用 7億7,796万円(前年比△24.1%)	↓
繰出金...一般会計から特別会計等に支出する費用 4億8,523万円(前年比△2.7%)	↓

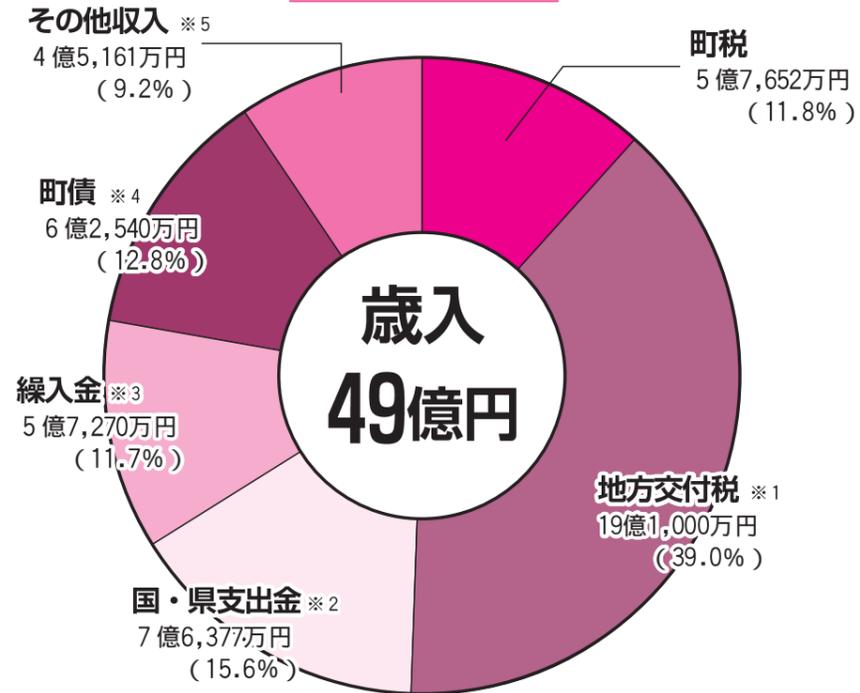
予算の概要
 平成29年度の一般会計は49億円で、昨年と比較し3300万円減少しています。歳入のうち、もっとも大きな割合を占めるのが地方交付税で、町の収入のおよそ4割を占めています。また、町のもっとも基本的な収入である町税については、歳入全体に占める割合が11.8%となっています。
 歳出については施設等整備費が昨年に比べて約2億5千万円少ない約7億7800万円となった一方、行政運営費が昨年より約1億9500万円増加し、約16億円などとなっています。

予算の概要

一般会計歳出



一般会計歳入



平成29年度町民一人当たりの予算



663,058円

区分	金額
議会の運営に	10,097円
行政の運営に	177,627円
福祉に	157,839円
健康づくり・きれいな町に	37,712円
農林業・商工業の振興に	38,423円
道路・住宅・除雪に	72,033円
安全な町に	29,284円
学校・生涯教育・スポーツに	46,150円
借金の返済に	84,330円
その他	9,563円

(平成29年3月1日現在の人口 7,390人)

《前年との比較》

区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額	区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
議会の運営に	△101(△1.3%) 7,563	道路・住宅・除雪に	△11,419(△17.7%) 64,652
行政の運営に	+5,232(+4.2%) 126,034	安全な町に	△597(△2.7%) 22,238
福祉に	+2,545(+2.2%) 114,098	学校・生涯学習に	+1,905(+5.9%) 32,200
健康づくり・きれいな町に	△282(△1.0%) 28,151	借金の返済に	△90(△0.1%) 62,410
農林業・商工業の振興に	△728(△2.5%) 29,123	その他	+235(3.4%) 6,831

《前年度当初予算との比較》

区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度当初予算額	区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度当初予算額
町税	+816(+1.4%) 56,835	繰入金	+13,570(+31.1%) 43,700
地方交付税	△1,100(△0.6%) 192,100	町債	+1,350(+2.2%) 611,900
国・県支出金	△27,645(△26.6%) 104,022	その他収入	9,709(+27.4%) 35,452

一般会計および特別会計当初予算

区分	予算額	増減率
一般会計	490,000	△0.7%
特別会計	225,601	△0.1%
計	715,601	△0.1%

用語解説
 ※1 地方交付税：全国どこでも同じ行政サービスが受けられるように、国から交付されるお金
 ※2 国・県支出金：国税の一部を譲与する地方譲与税や、国や県が使い道を決めて交付する国・県支出金、地方消費税や交付金などのこと
 ※3 繰入金：積み立てていた基金などから予算に繰り入れるお金
 ※4 町債：町が銀行などから借りるお金
 ※5 その他収入：町の土地などを利用したときの使用料のほか、諸収入や寄付金など
 ※6 公債費：過去に町が借りたお金(町債)を返すための費用。一般会計歳出の円グラフの借金の返済の項目

平成29年度の主要事業と予算額の内訳

事業名	内容	予算額 (千円)
議会の運営に（議会費）		
議員行政調査	他市町村の先進的な取組みを調査するための費用	800
議場録音設備改修事業	録音設備のデジタル化改修費用	540

行政の運営・まちづくりに（総務費）		
いきいき元気地域活動支援事業	いきいき元気地域活動支援事業の補助金	1,500
若者まちづくり支援事業	若者まちづくり支援事業の補助金	1,500
町民交流センター整備事業	町民交流センター建設費用	343,096
ふるさと応援基金積立事業	ふるさと応援感謝便等のための費用	243,875
移住定住促進事業	住宅の新築・新築住宅購入への助成金など	19,038
地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活動費用	8,508
交通安全対策事業	高齢運転免許証自主返納者へのタクシー券交付などの費用	3,980
まちづくり整備事業	桂桜公園の再整備などに関する費用	109,157
やる気活動サポート事業	やる気のある活動に対する助成金	700
まちづくり活動推進事業	高齢者の生きがいづくり、子育て支援、観光交流イベント創造活動への補助金	3,000
空き家対策事業	空き家バンク活用促進のための補助金など	1,723

福祉に（民生費）		
灯油購入費助成事業	冬期間の高齢者世帯への灯油購入助成	750
福祉バス運行事業	福祉バスの運行に関する費用	884
身体障がい者自立支援給付事業	身体障がい者への介護費用の給付金など	77,573
知的障がい者自立支援給付事業	知的障がい者への介護費用の給付金など	92,339
一人暮らし老人等除雪費助成金支給事業	一人暮らしの高齢者等への除雪費助成金	4,391
高齢者タクシー利用助成事業	高齢者へのタクシー利用料金の助成金	815
出産祝金支給事業	出産祝金の支給のための費用	4,100
子育て支援医療給付事業費	中学生までの医療費無料化に関する費用	26,726

健康づくり・きれいな町に（衛生費）		
骨髄移植ドナー助成事業	骨髄移植ドナーに対する助成	140
予防接種事業	B型肝炎等の予防接種のための費用	11,816
母子保健事業	赤ちゃんギフトや不妊治療助成金などの費用	5,688
健康増進事業費（がん検診事業）	各種がん検診の助成など	11,981
尾花沢市大石田町環境衛生事業組合負担金	尾花沢市大石田町環境衛生事業組合への負担金	155,815
北村山公立病院組合負担金	病院の運営負担金	43,325

事業名	内容	予算額 (千円)
農林業・商工業の振興に（農林業水産事業費+労働費+商工費）		
商工業活性化支援事業	プレミアム商品券発行のための補助金	3,500
大石田まつり関連事業	大石田まつり負担金	5,000
勤労者生活安定資金融資制度原資貸付事業	勤労者生活安全資金融資制度の貸付金など	8,143
農業担い手経営確立支援事業	農業担い手経営確立支援事業の補助金	4,000
農業次世代人材投資資金事業	新規就農者への農地取得費用等の財政支援	7,500
県営大浦地区農地整備事業	県営大浦地区農地整備に関する費用	7,000
多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払交付金事業の負担金	59,504
環境保全型農業直接支払交付金事業	環境にやさしい農業を実践する農業者に対する助成	18,000

道路・住宅・除雪に（土木費）		
道路ストック総点検事業	道路標識などの道路付属施設点検業務や町道等の補修工事など	46,500
道路除雪事業	町道等の除排雪費用	130,016
除雪機械整備事業	除雪ドーザ購入費用	34,660
流雪溝整備事業	鷹巣地区流雪溝整備費用	98,491
町営住宅管理事業	町営アパートの改修費用	5,944
住宅リフォーム支援事業	住宅リフォーム支援事業の補助金	26,858
地域優良賃貸住宅家賃低廉化事業	地域優良賃貸住宅家賃低廉化の補助金	8,640

安全な町に（消防費）		
消防ポンプ車整備事業	新型ポンプ車の配備に関する費用	20,186
大石田分署耐震診断事業	大石田分署の耐震診断に関する費用	2,807
東北水防大会事業	東北水防大会出場に関する費用	2,141
消防事務委託費	尾花沢消防本部への消防関係事務委託料	125,302

学校・生涯学習・スポーツに（教育費）		
スクールバス維持管理事業	スクールバスの運行に関する費用	509
公民館活動事業	「エジソン・ピカソくらぶ」や「トムソーヤの冒険」の補助金など	2,535
学校・家庭・地域の連携協力推進事業	放課後子ども教室等の補助金	1,386
図書館関連事業	町立図書館蔵書購入ほか運営に関する費用	23,960
町民大学開催事業	町民大学の開催に関する費用	1,413
総合型スポーツクラブ事業	若者からお年寄りまで楽しめるレクリエーションイベントの費用	509
生涯学習自主企画事業	生涯学習事業の企画運営に関する費用	1,261

まちとよ座談会 わたしと図書室



昭和47年4月にオープンし、以来45年間に渡って多くの方に利用いただいた中央公民館図書室は、町民交流センター内に整備される町立図書館の開館準備に向けて、今月31日をもって閉館します。これまで長い間図書室を利用されてきた方や、読書活動に関わった方、町の職員として図書室開設に携わった方など、さまざまな立場の方が集まり図書室の思い出や新しい図書館への期待を語り合いました。

(写真右から) 東海林華奈子さん、矢作善一さん、岩井保和さん、鈴木紀恵さん、海藤忠男さん、石川弘子主任司書、遠藤桂花司書

◇対談日/ 3月7日(火) ◇場所/ 大石田町中央公民館図書室

も書くことが好きで、次年子地区など地域の歴史などを書いていきます。その調べ物でここを利用していて、たとえば和暦を西暦にするとか何年とか、分からないことがあれば何でもすぐ聞いて、便利に利用させてもらっています。

図書室と読書活動

石川 開設当時の思いや、当時の図書室の様子など教えてください。

岩井 福祉会館の開館当初は、第一研修室(当時は結婚式場)の前に本棚を並べて貸し出しを行っていました。それがいいよ、私が入庁した年に図書室を作ることになったのですが、その際、私のように本をあまり読まない方も含めて、どんな方でも気軽に来られる図書室にしよう、貸出方式を無記名式にしたり、絵本や青年向けの本を多く置いたり工夫しました。

当時、町の図書費は百万円ありました。この金額は他の市町村を見てなかなかなくて、大石田町は読書



に対する思い入れがかなり強い町だったと思います。新しくできた図書室ということもあり、たくさんの方が訪れていましたが、できるだけ多くの人に読書習慣をとという課題があったので、裾野を広げるといところから子どもに対する読み聞かせ活動が始まりました。

私は本にはほとんど縁が無かった人間ですが、仕事を通して読書や本に触れた経験は今に生きている気がします。

石川 鷹巣の読み聞かせの活動はいつ、どのようなきっかけで始めたのですか。

鈴木 2003年に、当時鷹巣小学校の校長だった草刈先生から勧められたのがきっかけで、東海林さんのように図書館を遊び場にして育った女性や、絵本の好きな女性が地区に



何人かいて、そういった人達が集まって会が始まりました。

矢作 小さい子どもに対する読み聞かせは非常に大切だと思います。私が幼い頃、周りには本を読む人がほとんどいなかったので、小学校に置いてある本も、子どもが読むには難しいものが多くて、読みたくても読めないという環境でした。

読み聞かせ活動のおかげで、私の孫も自然と保育園から本を借りてくるし、時には「おじいちゃん読んで」と頼まれます。たぶん、本人たちはよく分からないで、大人が楽しそうにしているからやってみるとい感じですね。

読み聞かせは読むのが好きになる

石川 今日は、これまで様々な形で図書室や町の読書活動に関わって来られた方にお集まりいただきました。図書室は今月31日で閉館になります。新しい図書館が、利用される皆さんの思いのつまった素敵な空間になるよう、図書室にまつわる思い出新しい図書館に向けた意見などをお聞きしたいと思います。

はじめに自己紹介から。私は昭和55年から司書として勤務しています。図書室は当初、現在の4分の1ほどの大きさでしたが、少しずつ蔵書も増え拡張されていく中で、利用されている皆さんがとも活き活きして、温かい空間になっていっていると感じています。

東海林 愛宕町の東海林華奈子です。小さいころからずっとこの図書室に遊びに来ていました。また、子どもが生まれてからは親子で遊びに来て、読み聞かせの本などを借りています。ずっと小さいころから利用していた場所がなくなるのはちょっと寂しいですね。

矢作 東町の矢作善一です。図書室を利用し始めたのは退職した12年前からで、退職後大石田のことを知りたくて改めて思い、そもそも本好きということもあってよく利用させてもらっています。

岩井 栄町の岩井保和です。現在は社会福祉協議会で障がい者福祉や老人クラブの仕事をしています。昭和46年から役場で勤務し、読書教育の



読む癖をつけるきっかけになるんじゃないかなと思います。

石川 本が面白いと分かってくるとだんだん好きになっていくものですよ。

東海林 私も小さい頃からここで遊んでいましたが、はじめから本を読みに来ていたわけではないと思う。ここに来れば司書の先生が居るので、何を讀んだらいいのか分からない子ども本を薦めてもらえたり、子どもが何人か集まると紙芝居読みが始まったり、本と人との距離感の近さはこの強み。

鈴木 インターネットやスマホでは何でも簡単に知ることが出来て便利だけど、その先に広がりがない。この情報が本当に正しいのかどうかも分からない。その点、図書室に来ればたたくさんの本が目につくし、1冊の本を手にとれば、読んでみるべージの前後、周辺の情報にも触れることができるんです。



担当となりました。そこで中央公民館図書室の開設と運営に携わったのですが、私自身は本とは無縁の人間で、そういった方でも入りやすい図書室はどういうものだろうと考えるから運営に関わりました。

鈴木 鷹巣の鈴木紀恵です。「鷹巣絵本読み語りの会」に所属しています。私は最上町出身ですが、小さいころから近所の図書室を遊び場に過ごしたので、息子が生まれてからは、自然と図書室に子どもを連れてくるようになりました。読み語りの会では、多くの子ども達に本の楽しさを伝えたくて、図書室から本を借りて活動しています。

海藤 里の海藤忠男です。図書室を利用するようになったのは矢作さんと同じで定年退職後、10年ぶりに訪れた図書室で石川司書に久しぶりですねと声をかけていただいたのをよく覚えています。私は読むことより



る場所になるのが理想です。
海藤 自身身そうだったのですが、働いている世代がなかなか足を向けられないという問題がある。利用時間もそうだけど、誰でも気軽に来られる雰囲気作りとかね。
鈴木 習い事やスポーツなどで、子ども達は忙しいようですね。だけど、自分の好きな分野の本がたくさんあり、ゆっくり読めるスペースがあったら、わくわくして本を手にするのでは。
 図書館に泊まって、一晩好きな本を読むという企画をしている所もあるそうですね。様々な人に足を運んでもらえる楽しい企画を心待ちにしています。
東海林 夜間開放とかいろいろ企画にチャレンジしてもらいたい。それから、親子の読書活動というところでもお母さんが主体になるので、お父さんを引っ張り出すアイデア、男性目線の工夫も必要だと思います。



矢作 私の子供は時刻表が大好きだった。きっかけはやはり本でしたが、子ども達がどのようなものに出会うのかは分からない。だから多彩な事柄に触れる環境として、図書室という空間はすごく重要。小中学校に行っても、図書の展示はとも工夫されているし、今の子どもたちはとても恵まれた環境にいると思うよ。
岩井 大石田町では、昭和30年代には司書を全学校に配置していました。図書の先生がいるのといないのでは全然違う。そのあたりも他市町村とは少し思い入れが違ったのかなと思います。
知ること・学ぶこと・発信すること
海藤 調べ物などによく利用させてもらう身としては、郷土資料の多さ

もこの図書室の特色だと思うね。一方で、大石田町のことを町民が知らないという現状はとももつたない。
岩井 資料をいかにして残すか、これはこれからの図書館にとって重要な課題。まだ資料になっていない歴史、たとえば各家庭の歴史なども貴重な資料だと思う。今はなんでもない日常の事柄でも、後々の時代に振り返れば、とても貴重な証言だったりするんじゃないかな。
矢作 方言も失われつつある貴重な文化だと思う。昔は町内でも地区によって言葉やアクセントがかなり違ってたし、私よりもっと上の世代でないと発音できないような言葉もあった。
岩井 老人いこいの家にも、とんと昔語りの会さんがまとめた「大石田



の方言」が置いてありますが、お年寄りの方がとても熱心に読んでいますね。
海藤 どの本にも載っていない「幻の方言」のような言葉もあるね。
東海林 デジタルで音声を残すというの、後世に伝えるための方法のひとつだと思えます。
石川 たとえば自分史とか、どこにでもそれぞれの歴史がありますよね。方言もそのままにしていればだんだんと失われてしまいます。学ぶことの面白さを伝えてゆくことと同時に、発信する人、文字に残す人を増やすこともこれからの図書館の役割だと思います。
鈴木 これは大石田町独自の活動だと思えますが、小・中学校の教室に「とんと昔語りの会」と、「絵本読み語りの会」が一緒に入り活動する機会があります。
 新しい図書館が、歴史や科学、昆虫など自分の好きな分野を知りたい、また発信したいという方をサポートする場所になるといいですね。

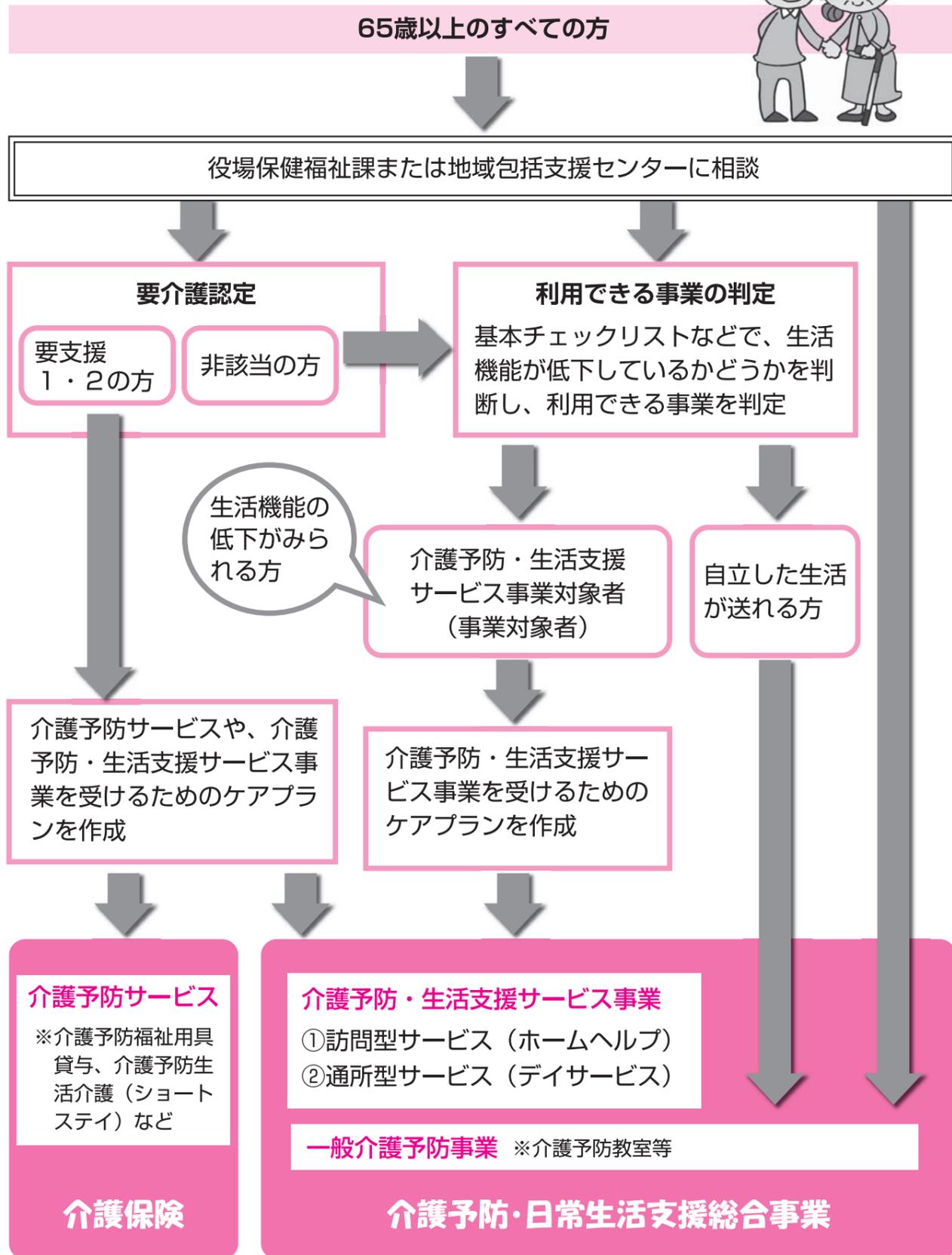


これからの図書館活動
岩井 これからの図書館に高齢者という視点は欠かせない。残念ながら町内に高齢者の居場所はあまり無いので子ども達だけでなく、高齢者にとってもいこいの場になればいいと思います。
鈴木 月に1回、お年寄り向けにも読み聞かせをしています。お年寄りだからと昔話を選んでしまいがちだけど、他の本も読んで頼まれます。図鑑や写真絵本は人気があって、いつも見ているけれど知らなかったねとか、知ることの楽しさは大人でも子どもでも変わらない。まず、知ることが楽しいと思ってもらうこと、本が人生を豊かにしてくれることに気づいてもらうことが大事で、読み聞かせをきっかけに図書室へ直接来るようになった方もいると思う。
石川 年配の方々は皆さんとても物知りで面白いお話をたくさん持っている。でも、他の世代の方がそれに耳を傾けていない。町立図書館がお年寄り子どもたちが触れ合えたり、いろいろな世代の交流の場になって、利用者それぞれが生きがいを見つけ



る場所になるといいですね。
鈴木 月に1回、お年寄り向けにも読み聞かせをしています。お年寄りだからと昔話を選んでしまいがちだけど、他の本も読んで頼まれます。図鑑や写真絵本は人気があって、いつも見ているけれど知らなかったねとか、知ることの楽しさは大人でも子どもでも変わらない。まず、知ることが楽しいと思ってもらうこと、本が人生を豊かにしてくれることに気づいてもらうことが大事で、読み聞かせをきっかけに図書室へ直接来るようになった方もいると思う。
石川 年配の方々は皆さんとても物知りで面白いお話をたくさん持っている。でも、他の世代の方がそれに耳を傾けていない。町立図書館がお年寄り子どもたちが触れ合えたり、いろいろな世代の交流の場になって、利用者それぞれが生きがいを見つけ

総合事業の利用の流れ



【問い合わせ先】

役場保健福祉課 介護保険担当 TEL35-2111 内線132

～元気な方も支援が必要な方も住み慣れた地域で生活できるように～ 介護予防・日常生活支援総合事業が始まります

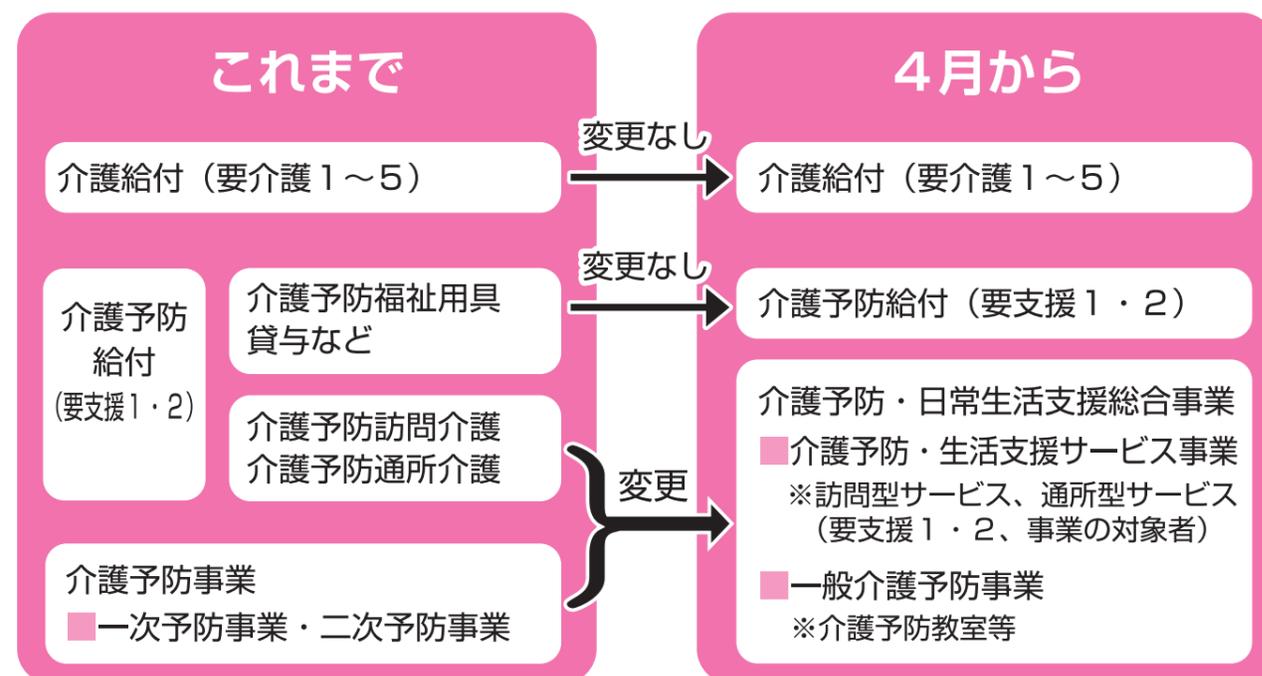
平成29年4月から高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、町が主体的に行う地域支援事業の一つとして、「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まります。

総合事業では、要支援と認定された方や生活機能の低下がみられる方が利用できる「介護予防・生活支援サービス」と、65歳以上のすべての方が利用できる「一般介護予防事業」を行い、みなさんの介護予防と日常生活の自立を支援します。

◆ 現在、要支援1・2の方 ⇒ ①要支援認定が更新された時点から、介護予防訪問介護（ホームヘルプ）と介護予防通所介護（デイサービス）は総合事業のサービスとして利用できます。
②ホームヘルプ、デイサービス以外の介護予防サービス（福祉用具貸与など）は、これまでどおり利用できます

◆ 新規申請の方 ⇒ 本人の意向と心身の状態を踏まえながら、サービスの利用内容を決めますので、役場保健福祉課または地域包括支援センターにご相談ください。

◆ 65歳以上すべての方 ⇒ 一般介護予防事業（介護予防教室等）を利用できます。



3歳児健診でむし歯のなかった子を 紹介します ~10月から12月生まれの3歳児~

3歳児健康診査が1月31日(火)に大石田町母子健康センターでおこなわれ、平成25年10月から12月生まれの3歳児14名が健診を受けました。そのうち、むし歯のなかった13名を紹介します。乳歯は生え変わりますが、きれいな永久歯になるためには乳歯を健康にしておくことが大切です。毎日『食べたらみがく!』の歯磨き習慣を心がけましょう。



◎ふたば横山保育園「写真左から」

- 齊藤 獅 穂 くん (里)
- 伊藤 希 空 ちゃん (田沢上)
- 小内 源 斗 くん (上ノ原)



◎大石田保育園「写真左から」

- 星川 琳太郎 くん (駒籠)
- 神部 楓 くん (愛宕町)
- 青木 七斗 くん (鷹巣3)
- 矢作 蒼梧 くん (東町)



◎ふたば保育園「写真左から」

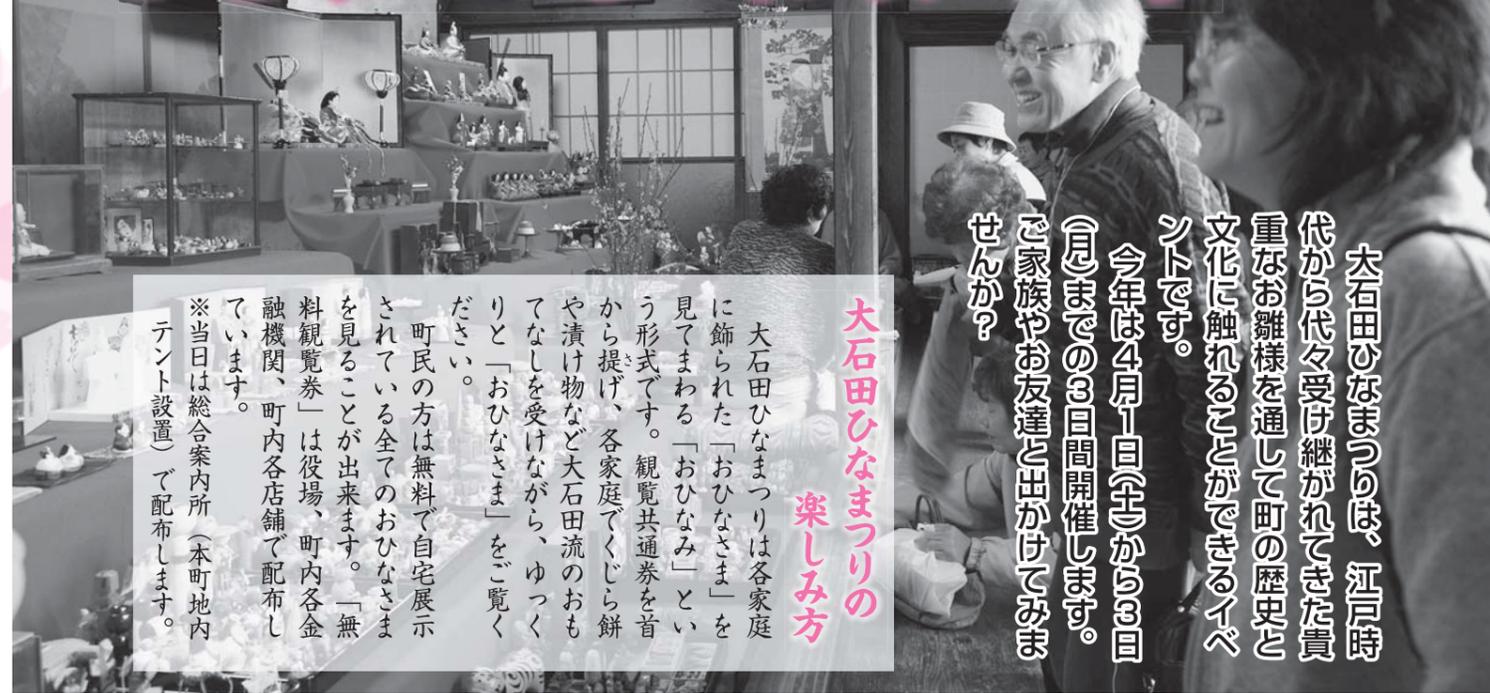
- 黒沼 結 柳 ちゃん (井出)
- 佐藤 奨 玖 くん (岩ヶ袋)
- 佐藤 聖 くん (横町)
- 鈴木 大 翔 くん (四日町)



◎写真左から

- 佐藤 琉 くん (駒籠)
- 三浦 凜太郎 くん (鷹巣2)

4月1日(土)~3日(月)は 大石田ひなまつり



大石田ひなまつりは、江戸時代から代々受け継がれてきた貴重なお雛様を通して町の歴史と文化に触れることができるイベントです。
今年4月1日(土)から3日(月)までの3日間開催します。
ご家族やお友達と出かけてみませんか?

大石田ひなまつりの楽しみ方

大石田ひなまつりは各家庭に飾られた「おひなさま」を見てまわる「おひなみ」という形式です。観覧共通券を首から提げ、各家庭でくじら餅や漬け物など大石田流のおもてなしを受けながら、ゆっくりと「おひなさま」をご覧ください。
町民の方は無料で自宅展示されている全てのおひなさまを見ることが出来ます。「無料観覧券」は役場、町内各金融機関、町内各店舗で配布しています。
※当日は総合案内所(本町地内テント設置)で配布します。

大石田ひなまつり イベント情報



■ひなまつり民謡ショー・雪国鷹巣太鼓(2日)
メイン会場「本町通り」を会場に、華やかな民謡ショーと迫力ある太鼓の演奏が行われます。



■抹茶席(菓子付き)(1日・2日)
北村山高校茶華道部の生徒による本格的な抹茶を堪能できます。



■琵琶演奏会(1日)・和琴演奏会(2日)
1日は「琵琶演奏会」、2日は「和琴演奏会」が開催されます。蔵座敷に響く優雅な音色をお楽しみください。



■ひなそば(要予約)
大石田そば街道協力店による「ひなそば」。手打ちそばとひなまつりらしい付け合せをお楽しみください。

■おひなさま公開時間
午前10時から午後4時まで



美味しいそば味わって

町 内のそば店14店舗で組織する大石田そば街道振興会(海藤均会長)の会員が2月22日(水)に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたて茹でたてのそばを振舞いました。これは振興会が大石田の美味しいそばを食べてもらおうと毎年行っているもので、会員らは利用者が集まる中でそば打ちを実演しました。また、利用者のそば打ち体験もあり、会員から「上手だね」などとほめられながら「こね、のし、きり」といった作業を行い、作業が終わると見守っていた利用者や職員から拍手が贈られていました。そば打ちを体験した利用者は「毎年楽しみにしています。うまかったです」と話していました。その後、茹でたてのそばが振舞われ、利用者たちは美味しそうに味わっていました。

いきいき元気に楽しもう

い きいき大石田福祉のつどいが2月26日(日)に福祉会館大ホールで行われ、老人クラブ活動に尽力された方への表彰が行われたほか、各地区の趣向を凝らした歌や踊りが披露されました。オープニングとして披露された寸劇「認知症を正しく理解しよう!」では、地域包括支援センターや社会福祉協議会のメンバーが、ご飯を食べたことを忘れる、財布をしまい忘れて家族を泥棒扱いするなど、身近に起こる認知症の問題をわかりやすく伝えていました。芸能演芸会では、各地区の趣向を凝らした出し物が披露されたほか、アトラクションとして大石田唱和会、エコミュージック、大石田町民謡研究会が歌と踊りで会場を盛り上げていました。



親子でかもしか修了式

か もしかクラブの修了式と親子読書活動「親子のつどい」が2月21日(火)に福祉会館大ホールで開催されました。かもしかクラブ修了式では町内3つの保育園の年長児43名に修了証とランドセルカバー、防犯ブザーが贈られました。また、村山総合支庁の職員が交通安全を啓発する手作りの大型紙芝居の読み聞かせを行ったほか、最後に「ストップの約束」を園児全員で再確認しました。

引き続き行われた親子のつどいでは、大型絵本お読み聞かせやピアノの演奏にあわせてリズム遊び、人形劇の上演などが行われ、親子で触れ合いながら楽しんでいました。

ニュース 玉手箱

身近なできごとや楽しい話など、広報紙で紹介したい話題をお気軽にお寄せください。町のホームページの「早耳通信」でも、大石田町のいろいろな話題を紹介していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.town.oishida.yamagata.jp>

■総務課 総務グループ TEL 35-2111 内線218



パステルカラーの花々でひと足先に春を

き らめき女性セミナー「春を感じるフラワーアレンジメント教室」が3月4日(土)に福祉会館第1研修室で行われ、約20名の女性が明るいパステルカラーの花を使ったフラワーアレンジメントを楽しみました。参加者らはバラやガーベラ、ミモザやスイートピーのなど淡い色どりの花々を使ったフラワーバスケット作りに挑戦し、講師の伊藤絹枝さん(下宿)から同じ色をまとめないことなどの指導を受けながら、柔らかな色合いの春らしいバスケットを作りました。バスケット作りの中には伊藤さんが用意したハーブティーを楽しみ、お互いの作品を見せ合ったりしながら、楽しいひと時を過ごしていました。



スノーシューで冬の絶景を満喫

ス ノーシュートレッキングin大石田が2月26日(日)に行われ、町内外から参加した家族連れなど約30名が、雪原の山歩きを楽しみました。これは大石田アウトドアクラブ遊Be隊(柴田和徳代表)が開催したもので、参加者はスノーシューという西洋風かんじきを履き、遊Be隊メンバーの案内のもと、あつたまりランド深堀をスタートして町民の森展望広場までの足跡がない真っ白な雪の上を歩いて登りました。また、頂上での休憩中には、チョコレートをとかしてチョコフォンデュを楽しみつつ、自分の足で登って来なければ見ることができない絶景を味わっていました。



